

第2章 北海道ブロックの目指すべき将来の姿

北海道は、豊富な資源や広大な国土等の特性を活かし、将来、以下のような地域となることを目指します。

(1) 国の内外に開かれ自立する地域

北海道が、他地域に比べ恵まれた資源や国土空間を持つという優位性を生かし、地球規模に視点を置いた食料基地の実現、自然的・地理的条件を生かした北の国際交流圏の形成、ゆとりある生活環境を生かした観光地の形成を図っていくことは、我が国の発展にとっても重要です。

このため、産学官の連携をはじめとする内発的取組を促進し、これらの具体化を図るための施策を推進します。

(2) 恵まれた環境や資源を誇りを持って次世代に引き継ぐ地域

北海道の豊かな環境は、我が国にとってかけがえのないものであり、次世代の国民の大切な資産として継承していく必要があります。

また、これまでの経済発展中心から、環境保全を重視した、いわゆる持続的発展が可能な社会の構築が課題とされています。

このため、恵まれた自然との共生、循環を基調とする地域社会の形成により、北海道の美しさ雄大さを引き継ぐ環境の保全を図るための施策を推進します。

(3) 多様な生活や文化を享受できる安全でゆとりある地域

北海道は、積雪寒冷な気候、広域分散型社会などの自然的・社会的条件を持つ一方、国民のくつろぎの場としての役割も担っており、恵まれた資源や環境を活用した、ゆとりある生活やアウトドア活動などの展開の場を、北海道の内外の人々に提供することが求められています。

このため、観光・保養など国民の多様な自己実現や交流の場の形成、安全でゆとりある生活の場の実現を図るための施策を推進します。